# 報告案件一覧

1	株式会社井筒屋による黒崎店、コレットの閉店発表について・・・資料1
2	平成29年次 北九州市観光動態調査について
	······資料2-1 資料2-2
3	第三セクターの経営情報について
	(1) 北九州まちづくり応援団株式会社・・・・・・・・・・・・ 資料3
	(2) 株式会社北九州輸入促進センター・・・・・・・・・・・ 資料4
	(3) 株式会社北九州テクノセンター · · · · · · · · · 資料 5
	(4) 皿倉登山鉄道株式会社 · · · · · · · · · · · · · 資料 6

平成30年8月22日

産 業 経 済 局

平成30年8月22日 産業経済局商業・サービス産業政策

# 株式会社井筒屋による黒崎店、コレットの閉店発表について

平成30年7月31日付で、株式会社井筒屋より、井筒屋黒崎店及び連結子会社である株式会社コレット井筒屋(店名コレット)の店舗営業を終了する旨発表があったので、下記のとおり報告します。

記

# 1 発表概要

## (1) 店舗営業の終了

井筒屋黒崎店:2019 年 5 月 31 日(金)をもって営業終了 コレット:2019 年 2 月 28 日(木)をもって営業終了

## (2) 閉店理由

# ア 井筒屋黒崎店

周辺の大型ショッピングセンターをはじめとした厳しい競争環境の中、食品フロアの全面改装や井筒屋アネックス 1 の閉店に伴う集客テナントの導入等、大規模な改装投資を行ってきた。しかしながら、売り上げの減少に歯止めがかからず、人件費等大幅なコスト削減を断行しながら、存続に向けて経営努力を重ねてきたが、今後の収益改善は困難であるという判断に至った。

営業終了後は、サテライトショップや外商活動を通じて、商品、サービスを提供する。

# イ コレット

本店との棲み分けを図るべく、大型テナントの導入や、20代をターゲットとしたショップの導入といった大規模な改装投資を行うとともに、従来の百貨店モデルではないローコスト運営に取り組んできたが、賃料をはじめとする固定費の負担が重く、赤字が恒常化している。抜本的な改革には多大の投資が必要であり、その回収の見込みが立たないこと等を踏まえ、今後の収益改善は困難であるという判断に至った。

営業終了後は、人気ある商材の充実など、井筒屋本店に経営資源を集中していく。

## 2 本市の対応

7月31日	・井筒屋による発表後、直ちに同社を訪問し、閉店に到る経緯や従業
	員の処遇についてヒアリング。
	・商工会議所を訪問し今後の対応について協議していくことを確認。
8月1日	・建物を所有する㈱メイト黒崎、北九州都心開発㈱にヒアリング。両
<b>~</b> 2 ∃	社とも突然の発表であり今後の方針は白紙ということを確認。
2 H	・今後、産業経済局と随時、情報交換を行うことを確認。
8月10日	・井筒屋主催の取引先説明会において、経営や雇用に関する相談の
	担当部署を説明。
8月13日	・市長と井筒屋社長が面談。これまでの経緯と本店に注力していく
	方針を確認。
8月17日	・影響を受ける取引先やテナント従業員等を対象とした経営相談窓
	口、雇用相談窓口を設置、市ホームページで公開。

(単位:百万円)

#### ■ 店舗概要

(1) 井筒屋黒崎店(建物所有者:株式会社メイト黒崎)

売場面積:約27,000 ㎡ (メイト黒崎の売場面積39,100 ㎡のうち約69%)

賃 料:約7.1億円/年

社員数:正社員 61 人、契約社員 124 人、計 185 人 売上高:平成 30 年 2 月期 129 億円(前期比 95.5%)

ピーク時売上 226 億円 (平成 16 年 2 月期)

沿 革:昭和34年11月 井筒屋八幡店としてオープン

平成12年12月 黒崎そごうが閉店

平成13年10月 黒崎そごう跡に移設オープン

平成27年10月 井筒屋アネックス1(旧八幡店)閉店

(2) コレット (建物所有者:北九州都心開発株式会社ほか)

売場面積:約30,000 m²(セントシティ北九州の売場面積46,282 m²のうち約65%)

賃 料:約9.9億円/年

社員数:正社員42人、契約社員71人、計113人

売上高:平成30年2月期103億円(前期比97.9%)

ピーク時売上 135 億円 (平成 21 年 2 月期)

沿 革: 平成12年12月 小倉そごうが閉店

平成14年3月 小倉玉屋が仮営業開始(~平成14年12月まで)

平成 16 年 2 月 小倉伊勢丹(伊勢丹・井筒屋の共同出資) オープン

平成 20 年 3 月 井筒屋が伊勢丹保有の全株式を取得

平成20年4月 コレット井筒屋に商号変更

### ■ 井筒屋グループ決算(連結)推移

H20.2月期 H26.2月期 H27.2月期 H28.2月期 H29.2月期 H30.2月期 売上 100, 126 87, 234 85, 259 82,947 79,649 78, 304 営業利益 1,412 2,208 1,974 1,993 1,393 1, 147 経常利益 695 1,978 1,384 1, 252 730 561 純利益 2,772 1,901 -4,7721,024 607 675